

2. 沿革

I. 原虫病細胞免疫研究室(1983-1990)

1984年4月 特別施設として「原虫病細胞免疫研究室」が家畜生理学講座
(鈴木 直義 教授)内に新設(原虫病研究センターの前身)

II. 原虫病分子免疫研究センター(1990-2000)

1990年6月 文部省令による学内共同教育研究施設(2000年3月31日までの
時限施設)として原虫病分子免疫研究センター設置
分子免疫学分野新設
1992年4月 細胞病態生理学分野(客員研究分野)新設
1993年6月 研究棟新設(462 m²)、特殊実験動物室(P1~P3安全基準完備
室)、原虫株大規模凍結保存室設置
1995年4月 耐病性遺伝子工学分野新設
1997年4月 節足動物衛生工学分野新設
1997年11月 研究棟増設(970 m²)

III. 原虫病研究センター(2000~現在)

2000年4月 全国共同利用施設原虫病研究センター設立。
先端予防治療学分野と高度診断学分野の新設
2002年3月 研究棟増設(1,730 m²)
2002年10月 「21世紀COEプログラム」に選定
2003年4月 特定疾病分野、食品有害微生物分野、大動物巡回臨床分野の新設
2005年4月 進化生物学分野、遺伝生化学分野、国際獣医疫学分野の新設
2006年3月 研究棟増設(1,520 m²)
2007年6月 OIE(国際獣疫事務局)リファレンスラボラトリー
(ウシバベシア病およびウマピロプラズマ病:五十嵐 郁男、スーラ
病:井上 昇)に認定
2008年5月 OIE コラボレーティングセンターに認定(原虫病分野では世界初)
2009年6月 共同利用・共同研究拠点
「原虫病制圧に向けた国際的共同研究拠点」に選定
2012年11月 寄付講座「生命平衡科学講座(白寿)」を開設
2013年3月 テニュアトラック普及・定着事業による地球規模感染症学分野の新
設